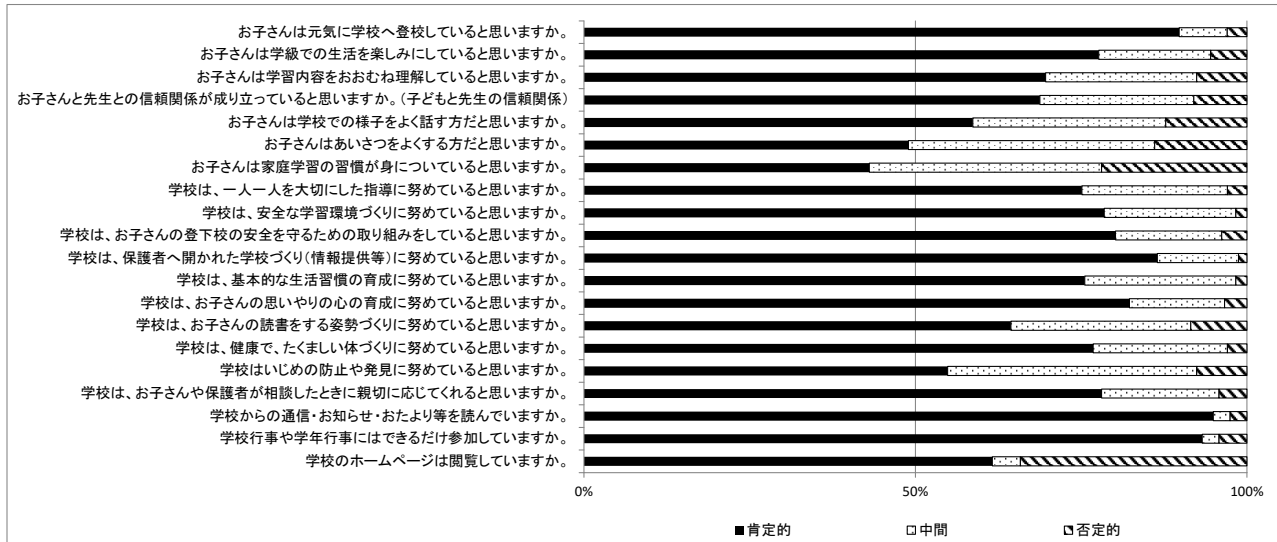
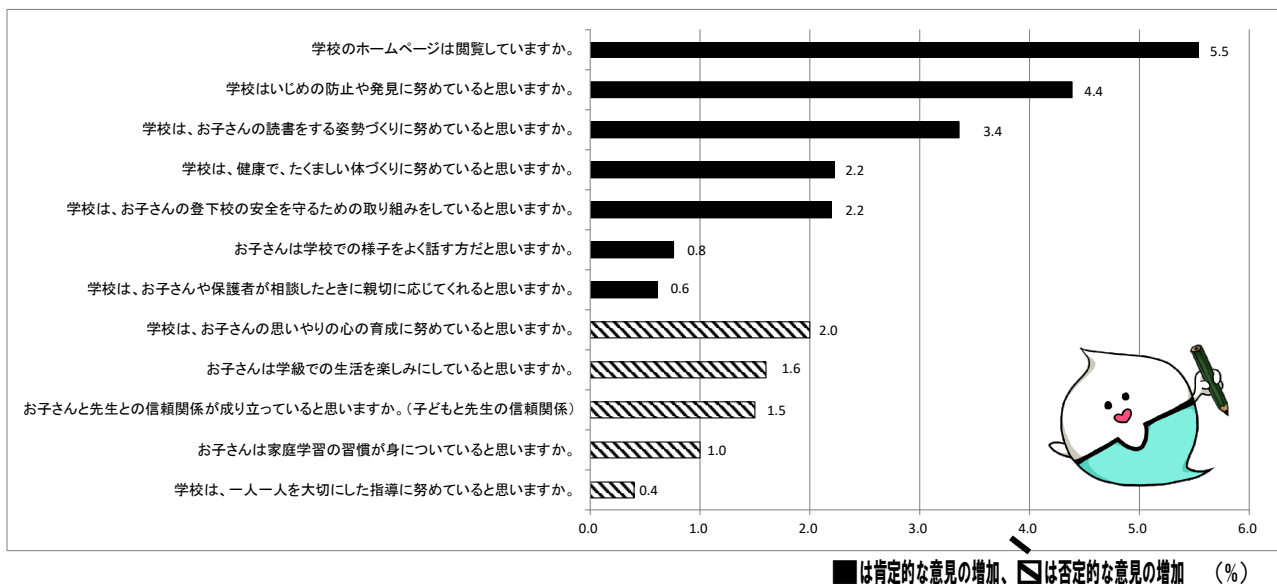


保護者アンケート結果①（項目順）



保護者アンケート結果②（昨年度調査との比較）



<分析> 結果①より

肯定的な回答の割合が、80%以上の項目

学校からの通信・お知らせ・おたより等を読んでいますか。(89.3%)
 学校行事や学年行事にはできるだけ参加していますか。(87.7%)
 お子さんは元気に学校へ登校していると思いますか。(83.7%)
 学校は、保護者へ開かれた学校づくり(情報提供等)に努めていると思いますか。(81.3%)

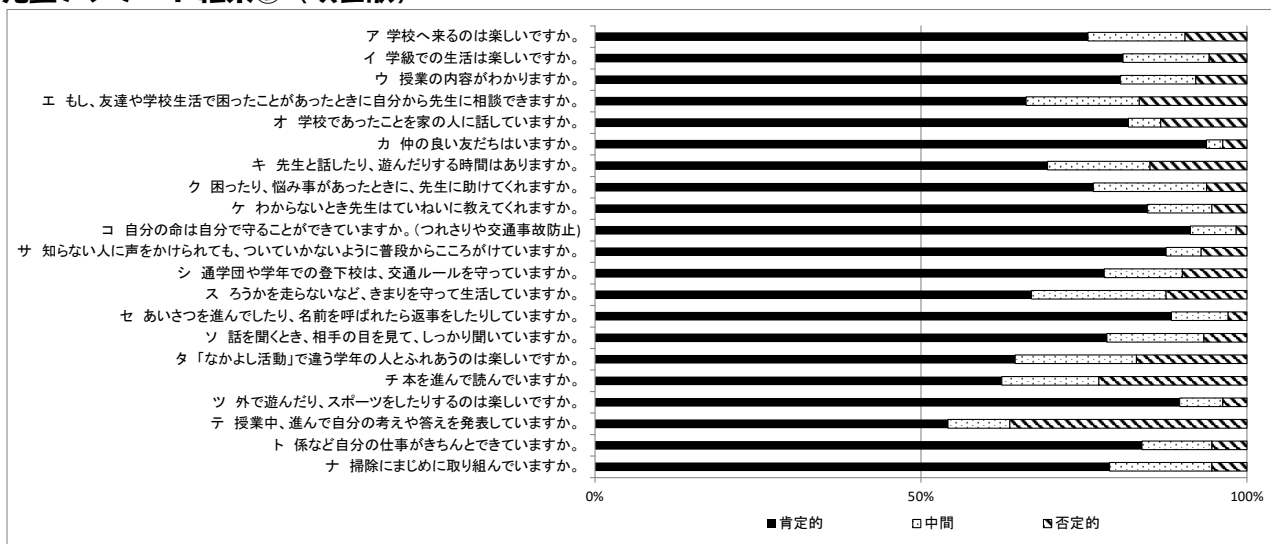
否定的な回答の割合が、10%以上の項目

学校のホームページは閲覧していますか。(32.1%)
 お子さんは家庭学習の習慣が身についていると思いますか。(20.6%)
 お子さんはあいさつをよくする方だと思いますか。(13.1%)
 お子さんは学校での様子をよく話す方だと思いますか。(11.5%)

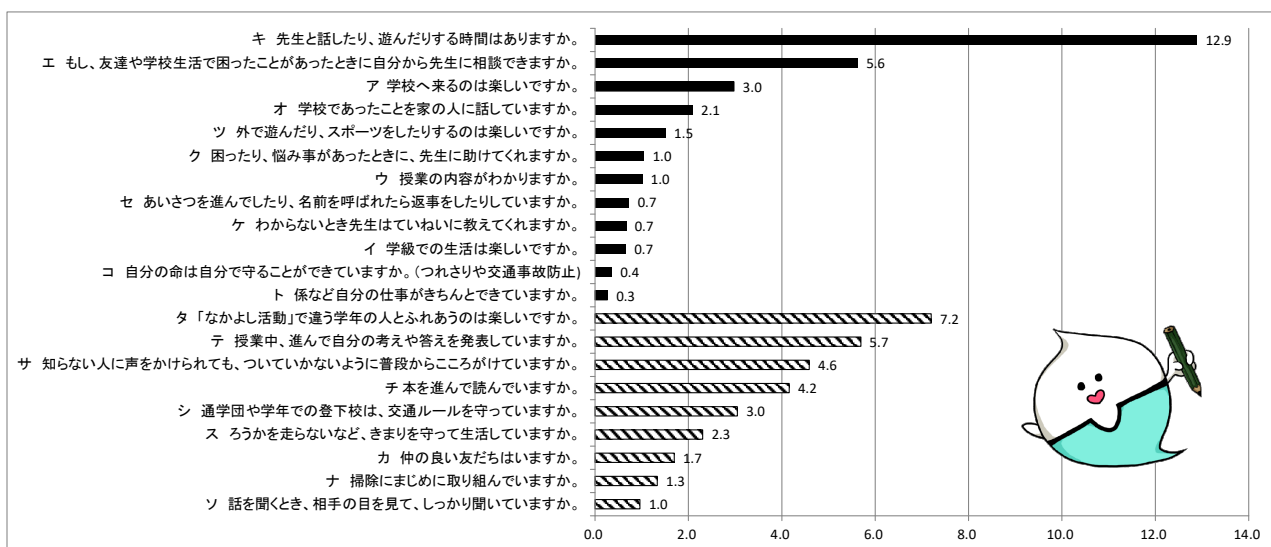
<考察> 結果①②より

- 学校用ホームページを新設したこともあり、昨年度よりは閲覧頻度が増加した。しかしながら、依然として関心が低い傾向にある。3月の臨時休業中に頻繁に活用したため、今後もホームページの有効性を感じられるような活用をしていきたい。
- 「いじめへの取組」は昨年度よりは若干肯定的な意見が増加したものの、依然として、中間的・否定的な割合が高い。生活アンケートや教育相談だけでなく、教師と児童、及び教師と保護者との間で信頼関係を築くことが必要不可欠である。必要に応じて、家庭との連絡を密に取り合い、情報を共有していくことで、教師と児童・保護者のさらなる信頼関係の構築に努めたい。
- あいさつができないと感じる保護者が多い。児童に元気のよいあいさつを促すためには、まずは教師が見本を見せることも大切だと感じる。
- 「家庭学習の習慣」は否定的な割合が高い。家庭での課題や宿題についても、継続的かつ適切な質・量を吟味していく必要がある。また、スマホ依存を懸念する保護者が多いことも「親子スマホ教室」のアンケートから明らかになっている。児童の健康・安全のためにも、基本的な生活習慣の確立にむけた取組を行う必要があると感じる。

児童アンケート結果①（項目順）



児童アンケート結果②（昨年度調査との比較）



<分析> 結果①より

肯定的な回答の割合が、80%以上の項目(10項目)のうち主なもの

仲の良い友だちはいますか。(93.4%)
知らない人に声をかけられても、ついていかにように普段からこころがけていますか。(87.2%)
外で遊んだり、スポーツをしたりするのは楽しいですか。(89.3%)
自分の命は自分で守ることができていますか。(84.4%)
学級での生活は楽しいですか。(80.2%)

■は肯定的な意見の増加、▨は否定的な意見の増加 (%)

否定的な回答の割合が、10%以上の項目(7項目)のうち主なもの

授業中、進んで自分の考えや答えを発表していますか。(36.2%)
先生と話したり、遊んだりする時間はありますか。(14.8%)
友達や学校生活で困ったことがあったときに自分から先生に相談できますか。(16.5%)
本を進んで読んでいますか。(22.6%)
学校であったことを家の人に話していますか。(13.2%)

<考察> 結果①②より

- 授業の発言力は依然として否定的な回答の割合が高い傾向がある。教師の授業力向上にむけ互いに授業を参観する活動を取り入れたものの成果が不十分である。わかる授業や学級の雰囲気づくりなど、さらに改善と工夫をしていきたい。
- 「先生と話したり、遊んだりする時間」は、昨年度より肯定的な割合が高まった。しかし、全体の割合としては、依然として低いことがわかる。教師が一人ひとりとゆっくりと向き合う時間が確保できるように、行事や諸会議を精選したり、時間割を工夫したりする必要があると感じる。あわせて、限られた時間を有効活用して、少しでも個々と向き合う時間を大切にするなど、児童とのコミュニケーションの取り方などを改善する必要がある。
- 「外で遊んだり、スポーツをすることが楽しい」という児童が多い。とりわけ本年度は、教室にエアコンが完備されたこともあり、暑さに負けず元気いっぱい校庭で遊ぶことができた。後期からは、耐水性貯水槽の工事のため、運動場を広く活用して体を動かすことが困難であったが、無事に工期も終了し、新しい遊具も設置された。今後、安全面に配慮して、児童の体力向上に向けたさらなる取組を模索していきたい。